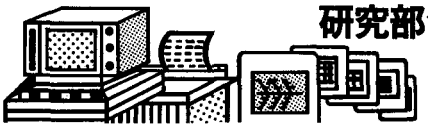

研究部会報告

待ち行列

• 第20回

日時： 2月15日(土)　14:00～16:30

場所： 東京工業大学(情報科学科会議室)

出席者： 24名

テーマと講師 • Q20—1 Queueing analysis of nonpreemptive reservation priority discipline (高木英明・日本IBM)——あるサービスAの次に処理する呼は，Aの開始時点で最も優先権の高い呼とする非割り込み形モデルの解析．LANからのモデル化．

• Q20—2 移動体通信におけるアロハ制御チャネルアクセス方式の解析(吉野秀明・NTT通研)——衛星通信を用いているので，伝搬遅延時間を考慮しなければならない点が特徴．

• 第21回

日時： 3月29日(土)　14:00～16:00

場所： 東京工業大学(情報科学科会議室)

出席者： 23名

テーマと講師 • Q21—1 アロハシステムにおけるカタストロフィー(小野里好邦・電通大)——スロッティドアロハシステムの不安定性に関するカタストロフィー理論による解析．〔資料〕 Onozato & Noguchi: "On the thrashing cusp in slotted Aloha systems," IEEE Trans. Communi., COM-33, 11, pp. 1171-1182(1985)

• Q21—2 「待ち行列」研究部会運営方法に関するアンケート集計結果 (主査：亀田一夫・電通大，幹事：小野里好邦・電通大)——今後の運営方針．

• 第22回

日時： 4月26日(土)　14:00～17:00

場所： 東京工業大学情報科学科会議室，**出席者：** 28名

テーマと講師 • 22—1 Ergodicity of Network of Queues (中塚利直・東京都立大)——入力に独立性を仮定しない，いわゆる一般入力について queue と gueueing network の安定性を論じた．

• Q22-2 G/M/∞待ち行列網の極限定理(山田敬吾・筑波大学)——G/M/∞待ち行列網について，Borovkov の結果の拡張を与えた．

• 第23回

日時： 5月17日(土)　14:00～16:00

場所： 東京工学大学情報科学科会議室，**出席者：** 29名

テーマと講師 • 23—1 ファクシミリ通信におけるトラヒック問題(稲守久由・NTT通研)——ファクシミリ通信網における複数呼連続転送制御方式を提案し，転送待ち時間および回線の無効保留時間を評価した．

• 23—2 共通メモリアクセス競合の近似解析 (能上慎也・NTT通研) —— 共通メモリアクセス競合における近似解析手法を提案し，その近似精度を求めた．

政策科学 (関西)

• 第10回

日時： 昭和61年4月5日(土)　14:00～17:00

場所： 芦大クラブ

出席者： 14名

講演者および講演題目

(1) 「政策科学と開発の周辺」
棚橋啓世 (インターナショナルクリエイティブコンサルタンツ(有))
開発事業の計画や運営上の実務的な課題を実例を引きながら検討し，政策科学から施策へのプロセスを考察する．

(2) 「多地域計量モデルによる北陸経済の分析—北陸新幹線の経済的インパクトの測定」
山根敬三 (摂南大学経営情報学部)
富山，石川，福井三県の経済的交絡を考慮して北陸新幹線建設の地域的なインパクトをシミュレーションによって計測し分析する．

トップ業務の創造的エキスパートシステム設計

• 第1回

日時： 4月26日(土)　10:30～12:30

場所： 東洋信託銀行中央口支店会議室，**出席者：** 27名

テーマと講師： 研究部会の趣旨　三重野博司 (東京理科大)，プログラマテストの問題点　小橋康章(東京理科大)

• 第2回

日時： 5月7日(水)　15:00～17:00

場所： 東洋信託銀行中央口支店，**出席者：** 35名

テーマと講師： 情報処理技術者像　山本欣子 (情報処理開発協会)

© 日本オペレーションズ・リサーチ学会．無断複写・複製・転載を禁ず．